

## 平成 26 年度 事業計画

### Ⅱ. 個室ユニット型特別養護老人ホーム 芦風荘

1. 利用定員 100人

2. 基本方針

開設 3 年目を迎える本年度は、更なるステップアップのための 1 年と位置づけて、個室ユニット型施設としての特性を十分に活かした運営を実践します。入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居前の居宅における暮らしが継続できるように、入居者同士が相互に社会的関係を築き、『自分らしく生き生きと』自律的な日常生活が営めるように支援いたします。

3. 基本計画

1) 介護事故防止対策の徹底と健康管理の充実

法人理念の根幹である『安全と健康管理』を実現するために、徹底した事故防止対策の周知と啓発を実施し、事故件数の削減を目指します。また、職員の医療知識向上の為に研修に取り組み、早期対応による健康管理に努めます。

2) 個室ユニット型施設としての差別化

① 24 時間シートの導入と活用

入居者毎に居宅での暮らしぶりには相違があります。24 時間シートというツールを活用し、安全で健康的な生活を 24 時間体制で支援します。また、記録との連動により、ケアの統一化と質の向上を図ります。

② 家族的情誼に基づいたユニットケアの実践

馴染みの関係づくりにより、入居者同士が協働で各々が自律した生活が継続できるように支援します。

③ 個別職員研修の充実

個室ユニット型施設としての特色を活かした運営を図るために、個々の職員がユニットケアを理解し実践できるよう、個々のレベルに合わせた研修を実施します。

3) 老人福祉事業協会サービス評価事業の受診

兵庫県老人福祉事業協会の平成 26 年度サービス評価事業を受審致します。法人理念の『情報の公開』を推進するために、第三者機関によるサービス評価を受審し、現状の課題と改善に取り組みます。

4) 災害時対策の充実

将来起こるであろうと予測される大震災に備え、地域協調での防災対策を充実します。尼崎市を中心として、行政・福祉施設及び、地域住民との協力による防災体制の確立を図ってまいります。

#### 4. 法人理念の浸透について

##### 1) 法人理念

- |             |                              |
|-------------|------------------------------|
| 一、福祉に寄与貢献   | 地域福祉の拠点として寄与貢献               |
| 一、人権尊重 誠実公正 | 人格の尊厳とプライバシーの保護<br>誠実公正な接遇介護 |
| 一、安全と健康管理   | 安全と健康は施設の使命                  |
| 一、情報の公開     | 明るい透明な施設経営と運営                |
| 一、相互協調      | 相互理解と信頼で築く人間関係               |

##### 2) 理念浸透活動

各種会議、施設内掲示版等々を通じて、全職員に浸透するよう働きかける回数を確保します。

#### 5. 事故防止対策について

##### 1) リスクマネジメント委員会の見直し

毎月開催している、リスクマネジメント委員会の内容を充実させ、具体的な対策の立案と周知の徹底を図り、事故件数の削減を図ります。

##### 2) ヒヤリハット事例の分析と周知

ヒヤリハット事例を分析し、防止対策を徹底することにより事故を未然に防ぐ体制を整備します。

##### 3) 事故防止啓発活動

事故防止の職員意識を高めるために、月間目標を定め、施設内掲示版等を利用した啓発活動を実施します。

#### 6. 健康管理について

##### 1) 協力医療機関

名称	所在地	入院	通院	診療科目
安藤病院	尼崎市	○	○	内・外・整・脳外・他
合志病院	尼崎市	○	○	内・外・整・脳外・他
大隈病院	尼崎市	○	○	内・外・整・心外・他
立花病院	尼崎市	○	○	内・外・整・泌尿・他
辻クリニック	尼崎市		往診	内・呼・循・胃腸・放
上枝診療所	尼崎市		往診	心療内科
高田泌尿器科	尼崎市		往診	泌尿器科
かんだクリニック	尼崎市		往診	皮膚科・形成
山下眼科	尼崎市		往診	眼科
いがらし耳鼻咽喉科	尼崎市		往診	耳鼻咽喉科

名称	所在地	入院	通院	診療科目
松田歯科	尼崎市		往診	歯科

## 2) 職員研修の充実

感染症蔓延防止、健康管理上の医学的知識及び、各痰吸引等の医行為を安全に実施するために、介護職員に対する医療知識の研修会を計画的に実施し、早期対応できる体制を確立します。

## 3) 看取り介護の実施

嘱託医並びに看護師と介護職員の連携・協働を密にし、チームケアの質向上を図ることにより、重度化に伴う看取り介護に対応します。

## 7. 24 時間シートの導入について

### 1) ソフトウエアのバージョンアップ

現在利用している福祉見聞録に、24 時間シートシステム及び記録連動システムを追加します。また、導入に際しては、操作方法のみではなく、24 シートの考え方や記録の大切さを含めた導入研修を全介護職員に対し実施します。

### 2) 24 時間シート作成のためのヒヤリング技術の向上

24 時間シート作成に当たり、入居者の 24 時間の暮らしぶりを如何に聞き取るかが、重要となります。聞き取り項目を細分化し、個々の職員が同レベルで聞き取れるように工夫し、職員の資質向上に繋がります。

## 8. 各ユニットの設えについて

### 1) 寛げる環境の提供

ユニット内において、ダイニングスペース・リビングスペースという空間の区分けを行い、ゆったりと寛げる環境整備を実施します。

### 2) 本物志向の装飾

時としてユニット内の装飾が、幼稚になりがちです。高齢者の生活空間として、落ち着いたある寛げる空間とする為、装飾についても大人としての本物志向を意識してまいります。

### 3) セミパブリックスペースの有効利用

現在、各フロアの共有スペースの活用が出来ていない状況です。設えを含めて、外部との交流が促進できる空間として整備いたします。

## 9. ユニット費の検討について

### 1) 各ユニットの個別的運営

ユニット毎に入居者の意向を反映した、特色のある運営を実施するため

にユニット裁量による経費の導入を検討します。

## 2) 支出の報告

ユニットに権限委譲することにより、ユニット職員の運営意識を高める仕組み作りを図ります。また、導入にあたっては、支出の報告を確実に実施するマニュアルを整備します。

## 10. 栄養食事サービスについて

### 1) 給食委託業者の変更

入居者様にとって、食事サービスは健康増進と共に日々の楽しみです。食の安全はもとより、美味しい食事、楽しい食事を提供する為、給食委託業者をエームサービス株式会社から株式会社グリーンハウスに変更し、食事サービスの質向上を図ります。

### 2) 年間行事企画案

四季折々の季節感を感じて頂けるメニュー提供と、日本全国の郷土料理や実演イベント等々を企画実施致します。

## 11. 情報公開について

### 1) サービス評価事業受審

特別養護老人ホームのサービス水準の向上を支援することを目的に会員施設を実施視察し、サービス内容の改善方法やサービスの質の向上について調査、助言等を行うとともに、利用者のサービスの選択に資することを目的として、客観的な評価結果を報告書に作成し、一般に公開する。

### 2) 介護技術講習会の開催

平成25年度に引き続き、地域向けの介護技術講習会と認知症予防教室を定期開催いたします。今年度においては、地域の会館等を利用する出張教室も企画いたします。

### 3) 機関誌の配布

毎月発行している『芦風荘だより』を、情報公開の拡充の為、公的機関・関係施設等への配布を開始します。

## 12. 大規模災害における、防災対策について

### 1) 行政及び施設間連携

尼崎市の特養等施設長会（市内20施設加盟）において、大規模災害時における連携を図る為、防災担当（芦風荘・博寿苑・武庫之荘ホール）を設立し、行政及び地域を含めた災害時対策に取り組みます。

## 2) 非常用物品等の備蓄

毎月1回、非常災害用備品及び、非常食と飲料水、緊急時連絡網を点検整備いたします。

## 3) 入居者情報の整備

災害後の避難においては、入居者情報（連絡先、ADL、既往症、投薬内容等）が、必要不可欠となります。緊急時に持ち出せるように、ユニットにおいて10名分の情報を一元管理致します。

## 4) 救命救急講習について

施設内にAEDを2台（1階フロアー・特養フロアー）設置しております。尼崎市消防署に指導を仰ぎ、全職員対象にAEDの操作を含めた、救命救急講習会を実施します。

# 1.3. 職員教育研修制度の充実

## 1) ユニットリーダー研修

ユニットケアの質向上の為、前期と後期で2名の受講を計画します。また、受講済みの5名と共同で、介護職員への伝達研修を実施します。

## 2) 腰痛予防

職員の腰痛予防の為、ボディメカニズムを応用したスーパートランス技術を介護職員が習得できるように研修を重ねます。

## 3) 機器操作確認研修

機械浴等の介護機器の取り扱いマニュアルの更新を実施しましたので、全職員に対し研修を実施します。また、実際にマニュアル通りに運用できているかの確認を一定期間後に実施します。

# 1.4. 職員配置について

## 1) 個人別目標管理と面談評価

平成26年度は、職員の定着率向上を図るために、全職員に対する面談を実施し、現場の意見集約を図ります。個人別の目標管理シートの充実を図ることにより、職員の勤労意欲を引き出します。

## 2) 安定した施設運営

初級（1年未満）、中級（1～3年）、中上級（3～6年）、上級（6年以上）のバランスに配慮した採用計画も実施します。特に新卒者の獲得に向け、近隣の介護専門学校に訪問し関係強化を図ります。

【職員配置予定 特養・ショートステイ】

	職種	基準人員	実員(常)	実員(非)	常勤換算後計
特養	施設長	1	1		1
	事務主任	1	1		1
	事務員	必要数	4		4
	生活相談員	1	1		1
	介護支援専門員	1	1		1
	介護部長	1	1		1
	介護主任	1	1		1
	介護職	29	40	15	49
	看護師	5	5		5
ショート	生活相談員	1	1		1
	介護職	5	5		5
	看護師	1	1		1
	医師	1.05	1	2	1.08
	管理栄養士	1	1		1
	機能訓練指導員	1	1		1
	理学療法士			1	0.3
	言語聴覚士			1	0.1
	合計	50.05	65	19	74.48

15. 運営面について

施設開設3年目を迎え、更なる発展の年度にすべく努力してまいります。特別養護老人ホームにおいては、昨年末から100名の定員を割るという状況が約3カ月にわたり継続いたしました。入居待ちの方が、沢山おられる状況の中、非常に申し訳なく反省しております。今年度は、地域福祉貢献の為に特養の入退居をスムーズに実施出来るよう、入居者の状態の把握の徹底により早期対応を心掛けてまいります。また、“安全と健康管理”を念頭に平均入院者数を減らすことにより、稼働率97%を目標にして安定した収入を確保します。

経費面においては、消費税のアップ(介護報酬のアップ以上の経費増)による経費増分を抑制するため、特に水道光熱費の削減(省エネ対策)に努めます。

特別養護老人ホームにおいては、平均介護度4.0、平均稼働率97%を目標とし、安定した運営を図ってまいります。

### Ⅲ. ショートステイ 芦風荘

(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

1. 利用定員 20人

#### 2. 基本方針

ご利用者様の心身機能を踏まえて、その有する能力に応じ、住み慣れた地域で、自己決定と尊厳を守り、自立した在宅生活が継続できるように、日常生活の支援及び機能向上訓練を行う。また、ご家族様の身体的及び精神的介護負担の軽減（レスパイトケア）を図る。

#### 3. 基本計画

##### 1) 緊急性の高い方の利用促進

社会福祉法人として地域福祉への貢献が必要です。昨年度は、緊急ショートステイの対応を充実し、地域に貢献致しました。しかし、生活保護の方の依頼には対応できない状況でした。今年度は、更に地域福祉に貢献する為、生活保護受給者の緊急ショートステイも受入れます。

##### 2) 信頼され、頼られる施設運営

2年間の取組みで、地域の居宅介護支援事業所からも一定の評価を頂いており、ショートステイ利用希望者も増加しています。ただ、ご利用後に定期利用に繋がらないケースも発生しており、利用者や家族のニーズに100%対応できていないという課題を残しております。今年度は、原因を改善し頼られる施設となれるように取り組みます。

##### 3) 質の高い在宅生活の継続

質の高い在宅生活の継続を図るため、レスパイトケア（家族の介護負担軽減）の充実を図ります。また、自立した生活が出来るように介護のプロとして、利用者及び家族の相談援助を実施します。

##### 4) 目標稼働率について

地域のニーズに迅速に対応し、地域での信頼を得ることで、稼働率100%を目標とします。沢山の方が特別養護老人ホームへの入居を待たれていません。地域貢献の為に、特別養護老人ホームの機能の一端を担う役割を十分に発揮して、経営の安定を目指します。

#### 4. 職員配置予定

職員配置予定は、特別養護老人ホームの配置予定表の通り。

#### IV. デイサービスセンター 芦風荘

(通所介護事業・介護予防通所介護事業)

1. 利用定員 25人
2. 営業日 月曜日から土曜日
3. 基本方針

利用者様が、可能な限りその居宅において、有する能力に応じ質の高い自立した生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の介護や機能訓練等を行う。また、社会性の維持のために、対人援助を行うと同時に、ご家族様の身体的及び精神的介護負担の軽減（レスパイトケア）を図る。

#### 4. 基本計画

##### 1) 利用者満足度向上を図る活動

アンケート調査の分析により、利用者及び家族の要望を集約・分析するとともに多様なニーズに対応していく。また、季節行事（花見、コスモス園見学などの外出企画、季節感が味わえる企画）を充実させ、他事業所との差別化を図り、利用者満足度を向上させることにより、高稼働率の維持を図る。

##### 2) 安心、安全な環境の提供

質の高いケア、サービスが統一して提供できるように、職員連携を密にとり安心して利用できる環境整備を図ります。また、安全運転講習への参加や危険予知トレーニングにより、安全運転を徹底して車両事故“ゼロ”を目標に取り組めます。

##### 3) 機能訓練の充実による、在宅生活の質向上

介護支援専門員から示された、居宅サービス計画に基づき、課題分析と目標を適正に設定する。また、機能訓練（立位保持・歩行等）を充実させて、利用者の在宅生活の質向上を図る。

##### 4) 目標稼働率について

年間平均稼働率 90%を目標にします。今年度は、介護報酬区分が小規模型から通常規模型（昨年度の利用者数の実績による）となり、介護報酬が約 16%減となり、年間で約 680 万円の減収見込みです。高稼働率を維持することにより、経営の安定を図ります。



## 5. 職員配置予定

職種	基準人員	実員（常）	実員（非）	常勤換算後計
管理者（兼務）	1	兼務		1
生活相談員	1.2	1.2		1.2
介護職	4	3	2	5
看護師	1	1		1
機能訓練指導員	1	兼務		1

## V. ケアプランセンター 芦風荘

### (居宅介護支援事業・介護予防支援事業)

1. 営業日 月曜日から金曜日
2. 営業時間 午前8時30分から午後5時30分まで
3. 基本方針

芦風荘居宅介護支援事業所は、法人理念及び介護理念に沿った運営を行うと共に、「自分らしく生き生きと」を念頭に利用者様ができる限りその居宅において、有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、利用者様の意思及び人格を尊重した、公正中立な立場で適正な居宅サービス計画を策定出来るように、医療関係機関及び事業所との連携に努めます。また、法令を遵守し、適正な事業運営を実施致します。

#### 4. 基本計画

##### 1) 質の高い居宅サービス計画の作成

居宅サービス計画に沿って、事業所等の実施したサービスのモニタリングを徹底することにより、計画の達成度を適正に評価し、自立した生活が送れるように、居宅サービス計画の質の向上を図ります。

##### 2) 困難ケースに積極対応

困難ケースの事例検討を確実にを行い、情報を共有し、様々なケースの疑似経験により、介護支援専門員の個人的資質の向上を図る。また、困難ケースについては、主任介護支援専門員を中心として、支援チームで活動することにより、24時間体制の支援を可能にする。

##### 3) 主任介護支援専門員による教育指導の充実

当事業所の担当プランについて、居宅サービス計画及び、サービス実施状況の把握及び評価を主任介護支援専門員が適切に評価し、担当の介護支援専門員にフィードバックすることにより、居宅サービス計画の質を確保する。

##### 4) 地域での知名度の向上

質の高い居宅サービス計画の作成及び、困難ケースへの対応を積極的に推進することにより、居宅介護事業所としての地域での知名度を向上する。

##### 5) 目標プラン件数

昨年度9月より常勤ケアマネ1名増員し、本格的に事業稼働致しました。本年度は、介護プラン60件、予防プラン40件の計100件のプラン件数を目標とします。

## 5. 職員配置予定

職種	基準人員	実員(常)	実員(非)	常勤換算後計
管理者(兼務)	1	兼務		1
介護支援専門員	1	2	0.8	2.8